

令和 8 年 9 月第 2 回定例会一般質問要旨

9 月 1 日（火） 10 時開会

総時間 9 時間 45 分（1 人 45 分以内）

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
1	9	中島達郎	1. 都市圏での情報発信	(1) パートナー都市協定の制定を。	町長 担当課長	10
			2. 空き家改修支援	(1) 具体的な空き家改修支援策は。 (2) 管理不全空き家の認定と対応策を。	町長 担当課長	10
			3. 町有施設等へのネーミングライツ	(1) 活用や対策は。 (2) 竜門キャンプ場管理棟等への活用を。	町長 担当課長	10
			4. 子どもの見守り	(1) 登下校時の低学年（主に 1 年生）児童に黄色い帽子の着用を。	教育長 担当課長	10
			5. ガバメントハンター	(1) ガバメントハンター（公務員ハンター）の育成と今後の対応を。	町長 担当課長	5

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
2	4	大井手 秀樹	1. 防犯カメラによる地域防犯力の強化について	(1) 公共施設等に設置されている台数（防犯・防災・その他）は。 (2) 設置カメラの目的別内訳、及び運用・管理状況は。 (3) 防犯上の危険箇所を把握・検証し、設置場所の選定に反映させているか。 (4) 今後の設置優先順位は。また、各区へ積極的に推進していく考えは。 (5) 設置の運用ルール（ガイドライン）を策定する考えは。	町長 担当課長	25
			2. 防災士を活用した地域防災力の強化について	(1) 現在、町内に在住・勤務されている防災士の人数と配置状況は。 (2) 町の防災担当と防災士、及び防災士間の情報共有や連携を図るしくみを構築する考えは。 (3) 防災士の育成・資格取得について、町独自の補助金制度の創設、拡充する考えは。 (4) 災害時の指定避難所、及び運営時の防災士の位置付けやマニュアル等を作成する考えは。 (5) 個別避難計画の策定時において、防災士を活用する考えは。	町長 担当課長	20

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
3	6	岩尾 匡	1. 水道事業	(1) これまでの水道事業について ①現在までの料金設定の経緯と他市町・類似団体との比較は。 ②水道管の老朽化率・耐用年数超えの最新データは。 ③独立採算上の問題点と今後の課題は。 ④漏水処理対策費の現状は。 ⑤水道管更新費用の増加と収入減の現状は。 ⑥今後の具体的な水道管更新計画は。 ⑦ダウンサイジングなどの措置予定・見通しは。 (2) 料金追加値上げの予定と安心安全な水の供給について ①2024 年からの料金値上げ効果の実証は。 ②料金追加値上げによる生活費変動緩和措置などの検討は。 ③現在の事業の継続と追加値上げの妥当性は。	町長 担当課長	30
			2. 都市計画道路（予定地）周辺に係る整備・措置	(1) 未完成道路周辺への対応について ①泉山・大谷線（予定地）に係る周辺空き家・廃屋への対応は。 ②解体補助措置などの可能性は。		15

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
4	2	久家 いくこ	1. 空き家対策とふるさと住民登録制度・国の人材支援活用	(1) 改正された空家等対策の推進に関する特別措置法の活用について ①支援法人の指定方針は。 ②管理不全空家の認定・指導・勧告の運用方針は。 ③民間委託の具体的計画は。 (2) 「ふるさと住民登録制度」と「特定居住支援法人」について ①ふるさと住民登録制度への参画方針は。 ②特定居住支援法人の指定スケジュールは。 ③空家等管理活用支援法人との一体運営は。 (3) 地域力創造アドバイザー、ふるさと住民コーディネーターを大幅に拡充し、これらの人材支援制度を令和9年度中に活用する考えはあるか。	町長 教育長 担当課長	45
			2. 安定的な雇用環境と担い手確保	(1) 「特定地域づくり事業協同組合」について ①設立の検討は。 ②小規模自治体は最大限活用すべきでは。 ③具体的な目標設定と行動計画は。		
			3. 「旧相撲場」の活用	(1) 旧相撲場が管理されていないようだが、社会教育施設として活用できないか。		

通告順	議席	氏名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答弁者	時間
5	1 2	池田 榮次	1. 中学校の統合について	(1) 「統合案を見直す」との新聞報道から、町民間に混乱が生じている。どのように見直し、または再考するのか。 (2) 「見直し」または「再考」案は検討委員（審議）会の答申を得てから公表すべきものと思うがどうか。	町長 教育長	45

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
6	5	浦川 和彦	1. 10年後の農業・棚田をどう守るのか	(1) 地域計画策定後の検証と実行について ①地域計画を策定したことで、新たに見えてきた課題は。 ②地域計画策定後の具体的な動きは。 ③兼業農家をどう支えていくのか。 ④地域の責任と行政の役割は。 ⑤地域計画を今後どのように実行へ移し、10年後の農業をどのように守っていくのか。 (2) 棚田を守る文化について ①棚田を農地だけでなく、文化としてどう捉えているか。 ②棚田を守る上での現状と課題は。 ③将来の担い手に繋げていく仕組みづくりは。	町長 担当課長	30
			2. 10年後の住環境をどう守るのか	(1) 管理困難な空き家について ①これまでの空き家対策の成果と課題は。 ②危険度C・Dランク増加への対応は。 ③管理不全空き家・特定空き家になる前の対策は。 ④所有者不明・相続問題の対応は。 ⑤活用できない空き家への新しい戦略は。	町長 担当課長	15

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
7	11	原田一宏	1. 高齢者見守り支援	(1) 認知症高齢者数及び行方不明者数の推移と現状は。 (2) 現在実施している対応策は。 (3) SOS ネットワークや GPS 機器、見守りシールなどの利用状況は。 (4) 地域住民や事業所・警察などとの連携は。 (5) 認知症高齢者を抱える家族への支援体制は。 (6) 今後の対応は。	町長 担当課長	45
8	8	諸隈洋介	1. 人口減少・世帯数減少に伴う地域持続可能性の課題について	(1) 現在 16 区ある行政区割りの見直し・再編に対する現状認識と今後の対応は。 (2) 消防団組織のあり方（維持・広域化等）および各地区の伝統行事・お祭りの継承支援に対する現状認識と今後の対応は。	町長 担当課長	45

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
9	1	伊藤 真理	1. 人口減少対策と住宅政策	(1) これまでの人口減少対策について ①過去 10 年間の人口減少対策をどのように検証しているか。 ②成果と課題を今後の施策にどう反映していくのか。 (2) 移住・定住施策について ①どの地域・年代・世帯をターゲットとしているか。 ②ターゲットを絞った情報発信を強化する考えはないか。 (3) 有田っ子出産・子育て応援ニコッと給付金について ①どのような指標で事業効果を検証し、継続・見直しを判断するのか。 ②移住を検討する子育て世帯への周知を強化する考えはないか。 (4) 住宅政策について ①移住する子育て世帯の住宅ニーズを把握しているか。 ②空き家、公有地、未利用地、民間宅地開発等を活用し、人口政策と住宅政策を一体的に進める考えはないか。 (5) 今後の人口戦略について ①子育て世帯への支援を「町の将来への投資」と位置づけ、成果を町民に示す考えはないか。 ②人口減少対策の「選択と集中」を行う考えはないか。 ③ターゲットと具体的な数値目標を設定し、毎年度検証する考えはないか。	町長 担当課長	45

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
10	10	手塚英樹	1. 30歳代からの特定健診の取り組みについて	(1) 本町では人工透析や糖尿病性腎症は重要課題となっている。現状は。 ①人工透析患者数は。 ②糖尿病性腎患者数は。 ③人工透析にかかる医療費は。 (2) 40歳からの特定健診だけでは30代から進行する生活習慣病への対応として十分か。検討が必要では。 (3) 人工透析にならず、元気に働き暮らし続けられる町を作るため、30歳代特定健診や慢性腎臓病予防の検討を。	町長 担当課長	15
			2. 有田駅舎内の観光案内所設置について	(1) 有田駅舎内に観光案内所があれば、観光客への観光案内とJRチケット購入方法の案内ができる。設置の検討を。	町長 担当課長	15
			3. 内山地区再開発の現状について	(1) 佐賀銀行有田支店跡地の進捗状況は。 (2) 「歴まち再生ファンド」の進捗状況は。	町長 担当課長	15

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
11	7	久保田 豊	1. 子どもの声を町政に反映する仕組みについて	(1) 現在、子どもたちの意見や要望をどのような方法で把握しているのか。 (2) 小中学生を対象としたアンケートを定期的の実施し、子どもたちが考える町の課題や将来像を把握する考えは。 (3) 子どもたちの意見を町の施策に反映し、その結果を子どもたちにフィードバックする仕組みを作る考えは。 (4) 特に今後の学校教育や学校再編等、子どもたちの生活に直接関わる重要な政策について、当事者である子どもたちの意見をどのように反映していくのか。	町長 教育長 担当課長	45

通告順	議席	氏名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答弁者	時間
1 2	1 3	今泉 藤一郎	1. 子育て支援	(1) 高校生等への通学定期券購入補助を。	町長 担当課長	15
			2. 老朽危険空き家等の対策	(1) 老朽危険空き家の数と事業所跡への解体費補助は。 (2) 上記の解体、除却の推移と半倒壊状態の物件数は。 (3) 民法 940 条(相続放棄をした者の保存義務)などの改正点は。 (4) 相続財産清算人の選任は。 (5) 相談窓口の設置は。 (6) 相続登記の現状は。 (7) 土地・家屋補充課税台帳上の所有者の把握は。 (8) 周辺の生活環境の保全対策は。	町長 担当課長	30

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
13	3	樋渡 悟	1. 防災計画について	(1) 段ボールベッドについて ①備蓄数、備蓄場所は。 ②搬送、設置のオペレーションの計画はあるか。 ③避難所開設後、何時間以内に設置する想定か。 (2) 物資の偏在が起きた場合にどのように調整する計画なのか。 (3) 町の備蓄だけでは足りない場合、県や国からのルートはあるか。 (4) 被災し、町の職員や庁舎、通信、道路等が機能しなくなった場合、誰が物資の必要量を把握し、調達・搬送・配分を行うことになるのか。	町長 担当課長	15
			2. 避難所としての歴史と文化の森公園について	(1) 第2次スクリーニング調査結果は。 (2) 統合中学校候補地選定時の評価は、土砂災害リスクの確認が必要とされていたが確認は。	町長 教育長 担当課長	10
			3. 町の産業振興について	(1) 過去の産業振興対策の結果、窯業や農業の現状をどう見ているか。 (2) 観光協会やまちづくり公社との連携は。 (3) 生涯学習センター周辺地に「朝市」を開催してみてもどうか。	町長 担当課長	15
			4. 小中学校の体育館へのスポットクーラー設置について	(1) 県の事業の進捗は把握されているか。 (2) 事業へ取り組む考えはあるか。	町長 教育長 担当課長	5